学校番号	408

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「家庭総合」（実教出版）						
副教材等	「家庭総合 学習ノート」（実教出版）、「家庭科５５デジタル＋」（教育図書）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活に関係するさまざまな内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
・家庭生活の課題について、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身に付けます。
・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的に身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・様々な人々と協働し、地域社会に参画するとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第3章　子どもとかかわる	1節　こどもとは	c:子供の世界について、自分の子どもの頃を思い起こしながら、興味関心を持ち、子どもの生活について、積極的に子どもと関わりながら理解しようとする。 生命の尊さについて，自分の現在，将来と結びつけながら，学習しようとする意欲がある。			ワークシート 振り返りシート
		2節　子どもの発達	a:子どもの心身の発達や子供の生活についての知識を身に着けている。 b:子どもの心身の発達，現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について，課題を見つけ，解決への考えをまとめることができる。 c:子どもの発達について，自分の体験と結びつけながら，学習しようとする意欲がある。	定期考査 課題製作	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
		3節　子どもの生活	a:子どもとの接し方，子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 b:子どもとふれあう体験学習や，子どものためのおもちゃづくり，お菓子づくりなどの実践活動に，積極的に参加し，子どもの発達の様子や生活に興味・関心をもとうとしている。 c:丁寧かつ、意欲的に課題に取り組める。	定期考査	ワークシート 絵本製作など	ワークシート 振り返りシート 絵本製作など
		4節　子どもをはぐくむ	a:生命の尊さ，子育ての意義について理解することができる。 b:保育実習などを通して子どもとふれあう体験学習や，実践活動などについて，目的の設定，体験学習中の判断や学習後の考察などをまとめることができ，また，体験学習の成果や反省などについて，レポートを通して表現することができる。 c:子どもをとりまく状況について，現状を知り，その課題を見つけ，解決に向けて考えようとしている。	定期考査	ワークシート レポート	ワークシート 振り返りシート

		5 節　子どものための社会福祉	a:子どもの発達段階において，子どもをとりまく人とのかかわり，地域環境・社会環境の重要性，子どもの福祉について理解できる。 b:子どもの生活やとりまく環境，また，現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて，情報を収集し，まとめることができる。	定期考査	ワークシート	
2学期	第6章　食生活をつくる	1節　人と食物のかかわり	a:各地の気候風土や宗教による食生活の違いについて理解するとともに，日本の食文化の特徴について理解できている。 b:地域の食文化やそれが発展してきた背景などについて，書籍や家族などから情報を収集して調査内容をまとめることができる。	定期考査	ワークシート レポート	
		2節　私たちの食生活	a:食事の意義や役割について，食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 c:食文化や自分自身の食生活について関心をもつとともに，自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。	定期考査		ワークシート 振り返りシート
		3節　栄養と食品のかかわり	a:食事の意義や役割について，食文化や食生活をとりまく環境から理解できる。 c:食品と栄養，調理との関係において，科学的な視点をもって，知識を深めようとしている。	定期考査		ワークシート 振り返りシート
		4節　食品の選び方と安全	a:旬の食材にはなにがあるか，なぜ旬の食材がよいのかを理解している。 食中毒の予防法や，食品添加物の特徴をとらえることで，安全な食品について理解している。 c:食品の選び方と安全において，科学的な視点をもって，知識を深めようとしている。	定期考査		ワークシート 振り返りシート

		5節　食事の計画と調理	a:栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら，家族の献立を作成することができる。 調理実習を通して，日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ，献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 b:栄養の機能と食品のかかわり，また食品の特性と調理との関係において，科学的な思考を身につけ，食品選択，栄養計算や献立作成など，実際の食事づくりにむけての判断ができる。 調理実習において，作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 c:調理実習においては，積極的に参加し，とりくもうとしている。	定期考査	ワークシート 振り返りシート 調理実習	ワークシート 振り返りシート 調理実習 自己評価
		6節　これからの食生活を考える	b:現在の日本の食生活においての課題を調査などから発見し，解決の方法について，自分の考えをまとめることができる。 c:これからの食生活について，知識を深めようとしている。	定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
3学期	第9章　消費行動を考える	1節　消費行動と意思決定	a:家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 b:消費行動と環境とのかかわりについて，生活と関連させながら課題をみつけ，解決の方向性を判断することができる。 環境に関するグラフなどから，生活における消費行動の問題点を導き出すことができ社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。	定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
		2節　消費生活の現状と課題	a:消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき，また契約についての知識を身につけている。 b:多様化する販売方法や支払い方法について，問題点や解決策を考え，判断することができる。	定期考査	ワークシート レポート	ワークシート 振り返りシート

	第10.章　経済的に自立する	1節　くらしと経済	a:消費者の権利と責任などについて理解できるとともに，現代の消費生活の課題について認識できる。 b:消費者としての自覚を持ち，消費者の権利と責任を考えることができる。	定期考査	ワークシート レポート	振り返りシート
		2 節　将来のライフプランニング	a:家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。持続可能な消費生活・環境についての知識を身につけている。 b:消費行動と環境とのかかわりについて，生活と関連させながら課題をみつけ，解決の方向性を判断することができる。 環境に関するグラフなどから，生活における消費行動の問題点を導き出すことができる。 持続可能な消費生活と環境とのかかわりについて、課題をみつけ、解決方法を考えることができる。	定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度